



# 九州・モンゴル“トーノ”友好会について

## 設立につきまして

---

日本の九州に住んでいたモンゴル人達の中でモンゴル同盟を確立することについての話が以前からありました。2011年3月11日の東日本大震災の時にこの話が実現され、トーノ友好会が設立されました。

東日本大震災の時に数百人の命を奪い、在福岡モンゴル人たちが2011年3月20日の大雨の日に、貝塚公園で集まり、最初の会議を開きました。この会で会長と理事を選出しました。当時福岡のモンゴルの留学生達が22,000円を集め、東日本大震災で苦しんでいる人々に寄付し、この事は西日本新聞に記載されました。

この会で友好会名に対してアルタンイルデンさんからの意見のトーノを議論しました。モンゴルのお家のゲールの天井に窓の役割をはたしているトーノがあります。モンゴル人がトーノの下で集まり、暖かい心で団結されていると意味でのトーノに決定しました。友好会のロゴのデザインをサンプさんとサラフさんに作って頂きました。

2011年4月から福岡県に登録されている団体の友好トーノ会の活躍がそのように始まりました。この日から、毎年友好会のメンバー達のナーダム、ツアーガンサル、スポーツ競技会等の様々なイベントを開催し、新入生、進学学生にセミナーを行なって来ました。

## 設立目的

---

本友好会は、九州に暮らしているモンゴル人達をサポートする、学生向けのセミナー、イベント等を開催する、モンゴルの文化を通して両国の友好を促進するに寄与することを目的としています。

## 活動内容

---

- 九州にお住まいのモンゴル人のサポート
- 新入生、進学学生向けのセミナー、ワークショップ
- モンゴル文化交流
- その他前条の目的を達成するために必要な支援

## 友好会概要

---

### 名称

九州・モンゴル“トーノ”友好会

### 会員人数

929人(2023年3月12日の時点)

## 連絡先

〒818-0101 太宰府市観世音寺5丁目12-1

TEL 080-5805-9090



## 会長あいさつ

みな様、こんにちは

私はソロンゾンボルド スブダーと申します。

モンゴル・人文大学で国際経済科として卒業し、2012年に福岡外語専門学校に入学しました。福岡外語専門学校を卒業後に福岡国際コミュニケーション専門学校に入学し、2015年に国際文化科として卒業しました。

初めて日本に来たときは、他の留学生と同じように、知らないこと、できないこといっぱい、たくさんの困難がありました。私より先に来日した先輩達のご指導、サポートのおかげで私は今も家族と一緒に福岡に暮らしています。日本では先輩、後輩と言う文化があります。この文化は私のように何も知らない新留学生にとってとても助けとなるものでした。日本の先輩と後輩の文化は素晴らしいですね。この文化は、私を始め、私と同じ世代の留学生達に、先輩が後輩の面倒を見る大切さを教えてくれました。

九州・モンゴルトーノ友好会が私は来日するちょうど一年前に設立されていました。トーノ会は日本の先輩、後輩の関係に似ていると私は感じています。

トーノ会に属していれば、トーノ会員がお互いに本当の家族、兄弟のように感じるすることができます。私たちはモンゴルの様々な行事を共に経験したり、問題を抱えている人に親身になり、先輩達の熱いご指導を受けたり、情報を交換したりしています。

私の記憶に最も残る出来事は2016年の熊本地震です。当時、人生で初めて地震というものに直面したのにも関わらず、トーノ会の先輩たちは熊本のモンゴル人留学生達を非常に迅速な対応で、福岡へ避難させました。この活動を見たとき、胸がいっぱいになり、感動しました。

トーノ会の元会長達や、会の活動に参加・支援して下さった先輩たちは、日本での目的を果たし、モンゴルに帰国したり、海外で活躍したりしています。現在、トーノ会のメンバーは900名を超えています。そして今後は日本国・モンゴル国の様々な分野において、活動範囲を拡大して行きたいと思っています。それにあたって、会員達と両国のためにどのような活動ができるか共に考えを深め合いたいと思っています

**我々の絆こそが我々を強くするのだ！**